

なぜ私が交流に参加したのか

参加した理由は私が元々K-pop や韓国ドラマが好きで、Youtube や食べるものも韓国色に染まるようになっていたので、なんとなく、本場で韓ドラみたいな景色をみたいとか、銀色の箸とスプーンでごはん食べたいなど思っていたりしたことと、もうひとつ、こういう国際交流は人と人との関りがメインなので新しい人に出会って新しい学びを得たいと思ったことがきっかけです。

安東について

今回私達が行った安東市は韓国の中で歴史と文化を持つ場所で、まるでタイムスリップしたかのような歴史的な場所やまさにこれが韓国といったような、ローカルな場所に行くことができました。特に安東河回村が私にとって新鮮で、そこだけ本当に当時のままの自然と建物があって、心が浄化されました。河回村には実際に今も人が住んでいるらしいです。昔の景色をそのまま見られることに心躍ったし、見ていて楽しかったのもう一度訪れてみたいなと思いました。

交流した仲間たち

日本人メンバーは全部で10人。全員フレンドリーで初対面とは思えないくらい、すぐに打ち解けることができ、何よりも安心感がありました。日本以外の国はインドネシア、タイ、中国、ベトナムから来ており、本当に全員が集めた瞬間、グローバルというものを肌で感じました。英語だけでコミュニケーションをとることを心配していましたが意外とそれができたので楽しくてしかたがなかったです。同じアイドルが好きな子がいたり、お互いの国の言葉を一生懸命に話してみたり話題に困ることは一切ありませんでした。インドネシアの仲間たちは本当に最初から最後までずっと明るくて心から優しく自分の国のことをよく勉強しているなど感じたし行動力があると感じました。タイの仲間はかわいくて、それぞれが専攻していることをプロフェッショナル並みに極めていて素敵だなと感じました。中国の仲間は初めはシャイで、どうしようと思ったけど、話してみると全員びっくりするほど面白くて、もっと話をしたくて日本に帰ってから中国語の勉強を始めるほど、中国に興味を持つようになりました。ベトナムの仲間であっさり会話をした子は日本のアニメを大好きでいてくれてたくさん話しかけてくれて本当にうれしかったし、違う国同士の人との会話でもちゃんと仲良くなれたことがわかって本当に楽しかったです。この仲間たちと韓国で1週間もの間を過ごせたことは最高の青春で一生の思い出ですし、これからもずっとつながっていたいと思えた仲間たちでした。

1週間の韓国生活

韓国に到着してからの1週間ずっと期待以上の毎日を過ごせました。韓国ドラマを見ていたから韓国をそれなりに知っているつもりでしたが、実際に行ってみるとお店の雰囲気や、韓国の人のイメージもだいぶ違ってどれも初めてのことばかりで本当に楽しかったです。スタッフの方は韓国人の方がほとんどで優しくして下さって過ごしやすいしていただきました。とても感謝しています。私が韓国料理のビュッフェのお店で韓国人の女性の方がお店の人でも交流のスタッフの人でもないのに私にビビンバの作り方を教えてくれた時に人の優しさに直接触れて涙が出そうになるくらいうれしかったことがありますが、韓国での1週間はずっと人の優しさはこんなにもうれしいものなのだというを実感できる世界で一番幸せな時間でした。帰るときには大号泣するくらい韓国での生活と友達がとてつもなく恋しくなりました。世界には優しい人がたくさんいるとわかってとても嬉しかったです。